



病院の概要

● 医師数（研修医を除く）109名（うち指導医数 26名）

● 研修医数 1年目 10名 2年目 7名

● 研修医の主な出身大学 徳島大学・福島県立医科大学・産業医科大学・
東京女子医科大学・高知大学・東海大学・日本大学・
獨協医科大学・埼玉医科大学・新潟大学・浜松医科大学・
琉球大学・弘前大学・鳥取大学

● 診療科 内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 糖尿病内科 内分泌・代謝内科 腎臓内科 神経内科 感染症内科
人工透析内科 緩和ケア内科 外科 呼吸器外科 心臓血管外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 肛門外科
整形外科 脳神経外科 形成外科 精神科 小児科 皮膚科 泌尿器科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科
リハビリテーション科 放射線科 病理診断科 救急科 麻酔科 歯科（33診療科）

● 1日平均外来患者数 132名 ● 1日平均入院患者数 414名

● 主な認定施設 臨床研修指定病院（基幹型）、地域医療支援病院、日本病院機能評価認定施設



研修プログラムの特色

患者中心の医療を行い地域社会に貢献する医師となるべく、医師としての良識とチーム医療を実践できる能力を身に着けること。そして将来専門とする分野にかかわらず、医師として必要な診療に関する基本的知識、技術、問題解決力を習得することを研修の理念としています。

初期臨床研修とは「医者の基本」を学ぶための研修です。「幅広い初期救急対応能力の習得」と「頻繁に遭遇するCommon disease に対する診療能力を身に着ける」。当院ではこの2つの目標を最重視しており、将来どんな専門分野に進んだとしても必要となる基本的臨床能力の指導に力を入れております。当院は地域の中核的な超急性期病院であり、救急患者や緊急入院が多く、また複数の医学的問題を抱えた高齢者の入院が多いことが特徴の一つです。臓器にとらわれない「Generalist の視点」で救急から入院初療、退院まで一貫して関わり、退院後のケアや患者家族の心情までも配慮できる「主治医としてのマネジメント能力」の礎となる研修を行っています。



プログラム 例 埼玉石心会病院臨床研修プログラム（募集定員10名）

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科（総診8週、腎内8週、消内8週、循内8週）32週								救急科	外科（消外8週・他外4週）12週		麻酔科	
2年目▶	救急科	地域医療	小児科	産婦人科	精神科	選択ローテーション32週							

①内科32週：総合診療科（※）8週、腎臓内科8週、消化器内科8週、循環器内科8週が必須。 ※総合診療科（主に内科領域、神経、呼吸器、内分泌、糖尿病内科を研修する）

②救急12週：1年次に4週、2年次に4週必須。 ※麻酔科、救急当直（月に数回）と毎週半日の救急研修を合わせて合計12週以上とカウントする。

③外科12週：消化器外科+乳腺・内分泌外科12週（または消化器外科+乳腺・内分泌外科8週+外科系4週）が必須。

※外科系：消化器外科、心臓血管外科、整形外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科

④麻酔科（救急）：4週必須

⑤小児科：2年次に4週必須。研修協力施設：埼玉医科大学病院/西埼玉中央病院/済生会川口総合病院（8週） ※一般外来研修を含む

⑥産婦人科：2年次に4週必須。研修協力施設：埼玉医科大学病院/西埼玉中央病院/埼玉病院

⑦精神科：2年次に4週必須。研修協力施設：埼玉医科大学病院/川越同仁会病院/高月病院

⑧地域医療：2年次に4週必須。研修協力施設：町立小鹿野中央病院、南魚沼市民病院、さやま総合クリニック、知床らうす国民健康保険診療所、宮古島徳洲会病院 ※一般外来研修および在宅医療研修を含む

⑨選択ローテーション：合計32週

以下の診療科から選択ローテーションする。各科は原則として最低4週以上から選択可。既にローテートした必修科を繰り返し選択可（必修科と選択ローテーションを分けて必修科を延長することも可）。

総合診療科、腎臓内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、糖尿病/内分泌・代謝内科、外科（消化器外科、乳腺・内分泌外科）、整形外科、脳神経外科、救急科、心臓血管外科、形成外科、麻酔科、泌尿器科、皮膚科、リハビリテーション科



研修医の処遇

給 与 ▶ 1年次：40万円/月、2年次：45万円/月
諸 手 当 ▶ 通勤手当、当直手当
保 険 ▶ 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険あり
勤務時間 ▶ 8時30分～17時（土曜日13時）
当 直 ▶ あり（4～6回/月）
休 暇 ▶ 土曜日午後、日曜、祝祭日
宿 舎 ▶ あり※家賃補助制度

主な臨床研修
協力病院・協力施設

・埼玉医科大学病院（小児科、産婦人科、精神科）
・済生会川口総合病院（小児科）
・西埼玉中央病院（小児科、産婦人科）
・埼玉病院（産婦人科）
・川越同仁会病院（精神科）
・高月病院（精神科）
・町立小鹿野中央病院（地域）
・南魚沼市民病院（地域）
・知床らうす国民健康保険診療所（地域）
・宮古島徳洲会病院（地域）



当院の魅力

～教育のあるところに人は集まる!～

埼玉石心会病院は研修医教育に力を入れています。「幅広い初期救急対応能力の習得」と「頻りに遭遇するCommon diseaseに対する診療能力を身につける」この二つの目標を最重視しており、将来どんな専門分野に進んだとしても必要となる基本的臨床能力の指導をしていきます。

- ①【**バランスのとれた研修内容**】 救急車の受け入れ台数は年間9,000台以上。救急患者や重症患者が多いため、気管挿管、胸腔ドレナージ、中心静脈路確保などベッドサイド手技の件数が圧倒的に多いです。しかしそれだけではなく、Attitude（患者との接し方、問題解決能力）・Skill（手技）・Knowledge（知識）をバランスよく指導していきます。
- ②【**救急研修の工夫**】 1年次と2年次の2回に分けて救急ローテーションを行い、安全性とときめ細かいフィードバックがもらえる屋根瓦式診療体制を整えています。また救急ローテーションとは別に、毎週半日の救急研修を2年間継続して行います。診療の振り返りを行いながら課題を見つけ、ステップアップ的に初期救急対応能力を身につけることができます。
- ③【**丁寧な研修医教育**】 経験した症例や手技について指導医とのディスカッションを重ねて丁寧なフィードバックをもらうことができます。埼玉石心会病院では診療を振り返り、自らの気づきや課題を見つけて学びを促していく「Reflective Learning」の教育手法を大切にしています。
- ④【**豊富な教育行事と学び教え合う文化**】 研修医向け勉強会が豊富にあり、学んだことを常に仲間と共有（シェア）していく文化が根付いています。診療科の垣根がなく、指導医や先輩研修医と気軽に語り合える和気藹々とした雰囲気があり、指導医と研修医がお互いに教え合い、学び合う文化を大切にしています。



研修責任者から



研修管理委員長/
プログラム責任者
元 志宏

初期研修とは「医者の基本」を学ぶための研修です。「幅広い初期救急対応能力の習得と頻りに遭遇するCommon diseaseに対する診療能力を身につけること」、当院ではこの2つの研修目標を最重視しており、将来どんな専門分野に進んだとしても最低限必要となる基本的臨床能力を鍛えるための研修に力を注いでいます。ベッドサイドの手技の件数が多いことも魅力の一つですが、当院は急性期医療を担う中核病院であるとともに在宅医療にも力を入れており、「地域完結型医療」を研修することが出来ます。2年間の初期研修終了後には、「医者の基本」を十分に習得できていることでしょう。ぜひ一度埼玉石心会病院に見学に来てください。お待ちしております。

先輩研修医から

当院は研修を行う上で十分な環境が整っております。数多く幅広い症例を見ることができ、その診療に関して上級医と相談できる環境があります。それだけでなく医師以外の医療従事者の優しいサポートや同期、先輩研修医との繋がりも強く、一緒に頑張っていけるような雰囲気のある病院です。医師キャリアのスタートとして安心して取り組める職場だと思います。興味を持たれた方は是非一度見学にお越しください。研修医一同心よりお待ちしております。

研修医1年目 **小峯 柊野**

埼玉石心会病院は「断らない医療」の理念のもと、年間約9,000台もの救急車を受け入れている地域の中核的な超急性期病院です。そのため初期研修医として多くの症例に携わることができます。救急科指導医もいるため救急対応の基礎から学ぶことができます。毎週半日救急当番があることも他の病院にはない特徴の一つです。まだ何科に進むか決まっていなかった私にとって、救急での初期対応力はいずれどの科に行っても必要だと思っていたため当院はそれが叶います。

指導医や先輩研修医共に話しやすく指導に熱心な方も多く、手技など率先して研修医にやらせてもらえるところも魅力的だと思います。是非一度当院に見学に来てください。

研修医1年目 **廣 茉莉**



女性医師支援コーナー

産休・育休を取得して復帰された女性医師が複数います（出産を機に辞めたという方はいません）。また育児のための当直免除や短時間勤務職員制度もあります。院内保育所では24時間保育を365日行っており、女性医師が働きやすい環境整備に努めています。

連絡先 **社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院**

担当 関 雅昭

〒350-1305 狭山市入間川2-37-20

TEL 04-2953-0909(直通) FAX 04-2953-8040

E-mail masaaki-seki@saitama-sekishinkai.org

URL http://www.saitama-sekishinkai.jp

アクセス 西武新宿線狭山市駅から徒歩10分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・病院見学の申込みは随時行っています。気軽にお申し込みください。
- ・採用試験は毎年8月～9月上旬に実施しています。